

介護予防事業と評価をお手伝いします！

— JAGES 2019年「健康とくらしの調査」協力自治体を募集中 —

JAGESでは日本全国100以上の市町村から得られた高齢者のデータから健康なまちの要因を調査・研究してきました。

JAGESプロジェクトとの共同研究にご参加いただくと、

- 1 他市町村と比較した地域診断ができます。
- 2 小学校区や包括区ごとの市町村内地域診断ができます。
- 3 他市町村や研究者とのワークショップへ参加できます。

介護予防政策には「課題の設定」「介入施策の立案」「プログラムの実施」「効果評価」という一連の流れがあります。これらの各プロセスの進捗を直感だけに頼るのではなく、データを基に戦略的に循環させていくことにより、中・長期的な視点での介護予防の推進に取り組むことが大切です。

【地域診断書のイメージ】

市町村間や市町村内(小地域間)でリスクや資源を比較

JAGES2016 コア指標

地域診断書を表示したい対象地域(市町村・学区等)を選択する(複数の地域が選択可能)

選択された指標を他地域と比較したランクと数値が表示

赤線は平均値

経年変化を表示・比較

高齢化率、可住地人口密度、都市度など、該当地域と似た地域で比較することができる

前期高齢者、後期高齢者、高齢者全体、男性、女性ごとに対象グループを選択できる

前回より改善なら↑
悪化なら↓

◆が対象地域の値を示す
◆が緑の中=良い指標
◆が赤の中=悪い指標

は対象地域内(=JAGES参加保険者)の平均

赤・黄・緑色の3色は、最小値(左端)と最大値(右端)を3等分し、それぞれに含まれる地域の割合を示す

改善の手がかりを検討

各指標の定義

指標名	地区名	今回(%)	順位	前回(%)	改善状況	回答者数(n数)	対象地域内平均(%)	評価グラフ
前期高齢者 コア指標								
高齢者割合		1.1	19	1.6	-0.5★	1,986	1.2	0.0
運動機能低下者割合		3.6	11	10.5	-6.9★	1,985	4	2.1
1年間の転倒あり割合		19.4	13	16.7	2.8★	1,975	21	16.2
押しこもり者割合		2.2	15	1.2	1★	1,979	2.6	0.9
1つ割合(ニーズ調査)						1,943	11.6	7.9
1つ割合(基本チェックリスト)						1,961	17.9	12.9
1つ割合(GDSS点以上)								
口腔機能低下者割合								
失語症19本以下の者の割合								
加齢が多い者の割合								
要介護リスク者割合		1.0	23	3.9	-2.9★			
認知症リスク者割合		0.9	18					
要介護認定者				23.6	8★			
スポーツの会参加				31.9	7.9★			
趣味の会参加				9.4	5.2★			
ボランティア参加				9	2★			
学習・教養サ				5.3	0.8★			
特技や経験サ				70.3	3.7★			
友人知人と会う頻度が高い(月1回以上)者の割合		74	21	50.3	3.7★			
交流する友人(0~2人)がいる者の割合		26.1	26	22.4	3.7★			
交流する友人(3~9人)がいる者の割合		38.1	26	36.1	2★			
交流する友人(10人以上)がいる者の割合		35.8	22	37.8	-2★			
情緒的サポート受援者割合		95.3	19	92.7	2.6★			
情緒的サポート提供者割合		95	20					
手段的サポート受援者割合		96.2	14					
手段的サポート提供者割合		88.6	19					
ソーシャル・キャピタル得点(社会参加)		76.3	10			1,902	72.3	30.5
ソーシャル・キャピタル得点(連帯感)		148.7	34			1,969	153.9	144
ソーシャル・キャピタル得点(助け合い)		197.9	11	194.9	3★	1,990	196.3	186.8

◆ 改善 ★ 悪化 × 維持 ◆ 今回の値(%) | 対象地域内の平均(%) 低い 中程度 高い

指標の定義 印刷 JAGE HP 手がかり発見ツールへ

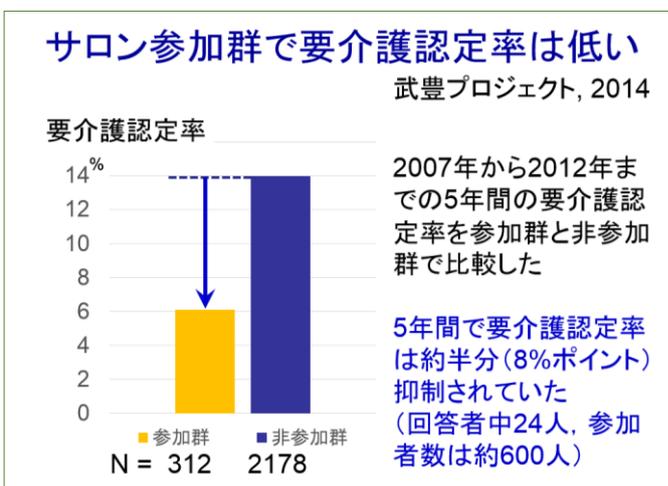
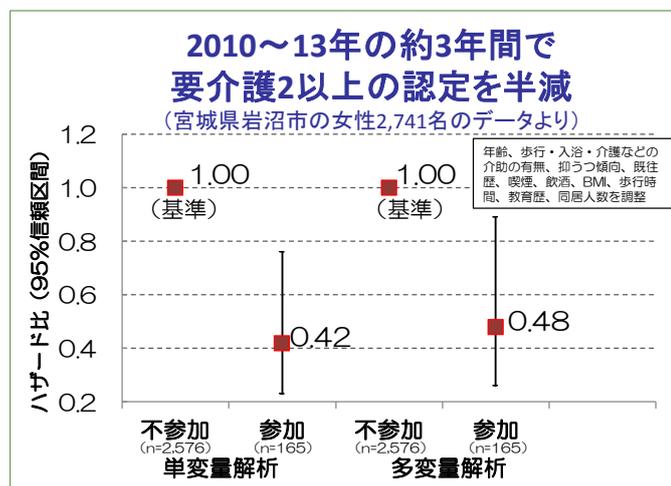
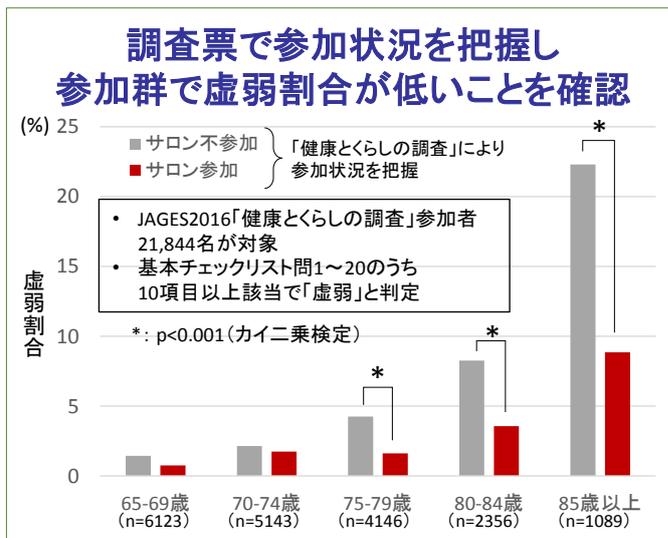
JAGES プロジェクトとの共同研究にご参加いただくと、地域診断書作成のほか、
 → 新しい総合事業「一般介護予防事業評価事業」をお手伝いできます。
 → あなたのまちのボランティア参加希望者を把握できます。

通いの場参加による要介護認定率の抑制効果を検証！

サロンなど通いの場を立ち上げている市町村は多数ありますが、その効果を検証している市町村は稀です。JAGES では、既存データや新たな調査から、通いの場参加による要介護認定率の抑制効果を検証できます。

【調査票を用いた簡易評価の例→】

【参加者名簿と認定データから詳細評価の例↓】



JAGES 共同研究の成果は第6期介護保険事業にも活かされています！

JAGES が開発を進める地域診断システムで地域課題が見える化し、住民と共有し、住民も巻き込んだ事業を展開した市町村の例が生まれています。(このシステムは国が進める“地域ケア「見える化」システム”のモデルとなっています)

JAGES2019 年調査へご協力をお願い

JAGES プロジェクトでは、より詳細な地域診断支援と介護予防に関する知見を得ることを目的に、全国の介護保険者や都道府県と共同して、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票を拡充した全国共通の調査票を用い、**2019 年秋に大規模調査を実施**する計画です。参加を検討して下さる保険者・都道府県担当者対象の説明会を行います。

2018 年 4 月下旬 調査説明会 開催予定 (間もなくホームページで受け付け開始)

調査に関するホームページ: <https://www.jages.net/survey/>

お問い合わせ先: 千葉大学予防医学センター TEL: 043-226-2803 FAX: 043-226-2018
 E-mail: chibaadmin.ml@jages.net